

堺市の教育・保育施設における医療的ケア児の状況

1. 令和2年度の状況について

<公立>

2歳児	1名	経鼻経管栄養
3歳児	1名	経鼻経管栄養; 園での対応は不要
4歳児	4名	経管栄養; 経鼻・胃ろう
		喀痰吸引; 年度途中で不要になる
		血糖値測定とインスリン投与; 年度途中から対応

<民間>

5歳児	1名	カニューレ内吸引
4歳児	5名	経管栄養; 経鼻・胃ろう、カニューレ内吸引
		在宅酸素、人工呼吸器、導尿
3歳児	3名	経管栄養; 胃ろう、カニューレ内吸引
		血糖値測定とインスリン投与; 年度途中退園
2歳児	6名	経管栄養; 経鼻・胃ろう、導尿
		血糖値測定とインスリン投与; 年度途中から対応
1歳児	4名	経鼻経管栄養; 年度途中から対応児童も
		カニューレ内吸引
		在宅酸素; ほとんど登園できず

2. 今後の課題について

<全体的な課題>

- * 在籍児童の年度途中における医療的ケア開始ケースの増加
(経管栄養、導尿、血糖値測定とインスリン投与など)
- * 0・1歳児の医療的ケア児の新規申請が急増
(R3年度に向けて、7名の新規申請あり)
- * 医療的ケア児の受入施設調整の難しさ

⇒ 「医療的ケア開始直後からの関係機関の支援の必要性」
～関係機関の役割として、家族まるごとをどう支援していくか～

<施設内での課題>

- * 医療的ケア児の体調管理・環境調整
- * 医療的ケア児の保護者支援
- * 医療的ケア児の療育・専門的支援の保障
- * 看護師の確保や負担軽減

⇒ 「集団のなかで安心・安全な保育の保障」
～子ども・保護者・職員～